

明治

大正

昭和

平成

令和

女子教育ただ一筋

大妻学院の歩み

120年

東京大空襲により校舎焼失



(1945年)

大妻中学校設置

大妻高等学校設置

大妻女子大学短期大学部設置

大妻女子大学大学院設置

多摩校開設
大妻多摩高等学校設置

(1996年ごろ)

大妻多摩中学校設置

創立100周年



2028

創立120周年

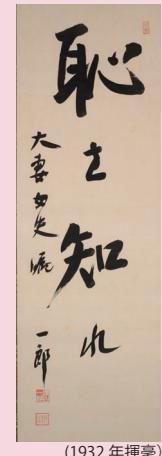
熊田コタカ誕生

裁縫・手芸の家塾を開設
(大妻学院創立)

1884

大妻良馬と結婚
(大妻姓となる)私立大妻技芸学校、
各種学校として認可

校訓「恥を知れ」制定

私立大妻高等女学校設置
(私立大妻実科高等女学校を改組)

(1922年ごろ)



大妻学院の歴史は、明治41年(1908)に大妻コタカが裁縫・手芸の私塾を開いたことに始まります。コタカは、夫・良馬とともに私財をなげうち、学生の教育に心血を注ぎました。その後、数々の苦難の時期を乗り越え、現在の大妻学院は学生・生徒数1万人超の学校法人へと大きく発展を遂げました。

平成19年(2007)4月、大妻学院が建学以来収集してきたさまざまな資料を教育・研究に活用するべく、「大妻女子大学生活科学資料館」が設立されました。そして平成23年(2011)2月に、東京都から博物館相当施設(令和5年〔2023〕4月より指定施設)の指定を受け、平成24年(2012)4月には館の名称を「大妻女子大学博物館」に改め、新たなスタートを切りました。

大妻女子大学博物館では大妻学院創立者の大妻コタカと、その夫で最大の支援者である大妻良馬の生涯、そして大妻学院に関する資料を、収集・調査研究・整理保存・展示公開しています。



(1914年ごろ)

関東大震災により
校舎焼失

1923

1929

大妻良馬逝去
財団法人大妻学院認可
(1951年学校法人へ組織変更)

大妻女子大学設置



(1969年ごろ)

狹山台校開設
(2015年閉校)

(1984年ごろ)

大妻女子大学博物館開館
(生活科学資料館から改称)学校法人誠美学園合併
(大妻中野及び大妻嵐山中学高等学校)

2028

創立120周年